

## 実施内容：水中心検（コンクリートの損傷や堆積状況の把握）の検証

## 1. 検証項目（予定）

## a. 堰の主ゲート直上流のコンクリート部の状況把握

## ① 堰柱の上流側水中部の変状調査

No. 6 ゲートの両側の堰柱（P2 および P3）の上流側水中部の画像を取得し、洗掘や磨耗等の変状を調査する。

## ② No. 6 ゲート上流側の扉体前面の戸当り床版の変状調査

No. 6 ゲート下部の戸当り部の画像を取得し、変状を調査する。

## b. 堰上流の護床ブロックの状況把握

堰の上流側指定範囲（70m×60m）の河床および敷設してある護床ブロック（2種類の異形ブロック）の全体を調査し、洗掘、変形、土砂堆積等の状況を把握する。

- ・長さ：70m（No. 6 ゲートから上流 25m～95mの範囲）
- ・幅：60m（No. 6 ゲートを中心に左右 30mの範囲）

## c. 堰上流右岸の状況把握

## ① 擁壁の変状調査

堰上流右岸指定範囲の擁壁の画像を取得し、変状があればその位置を特定する。

- ・長岡市上水取水口の下流 20m～50m の範囲
- ・魚道呑口～下流 30m の範囲

## ② 魚道呑口前の土砂の堆積状況把握

魚道呑口前の土砂の堆積状況の画像を取得する。

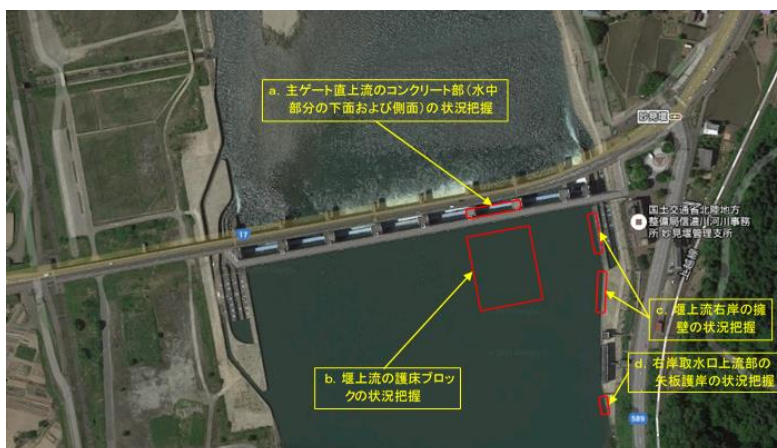
## ③ 魚道呑口下流の擁壁に取り付けた模擬板の調査

様々な幅や長さのクラックおよび凹凸等の変状を模擬した試料の画像を取得し、その変状の寸法を測定する。

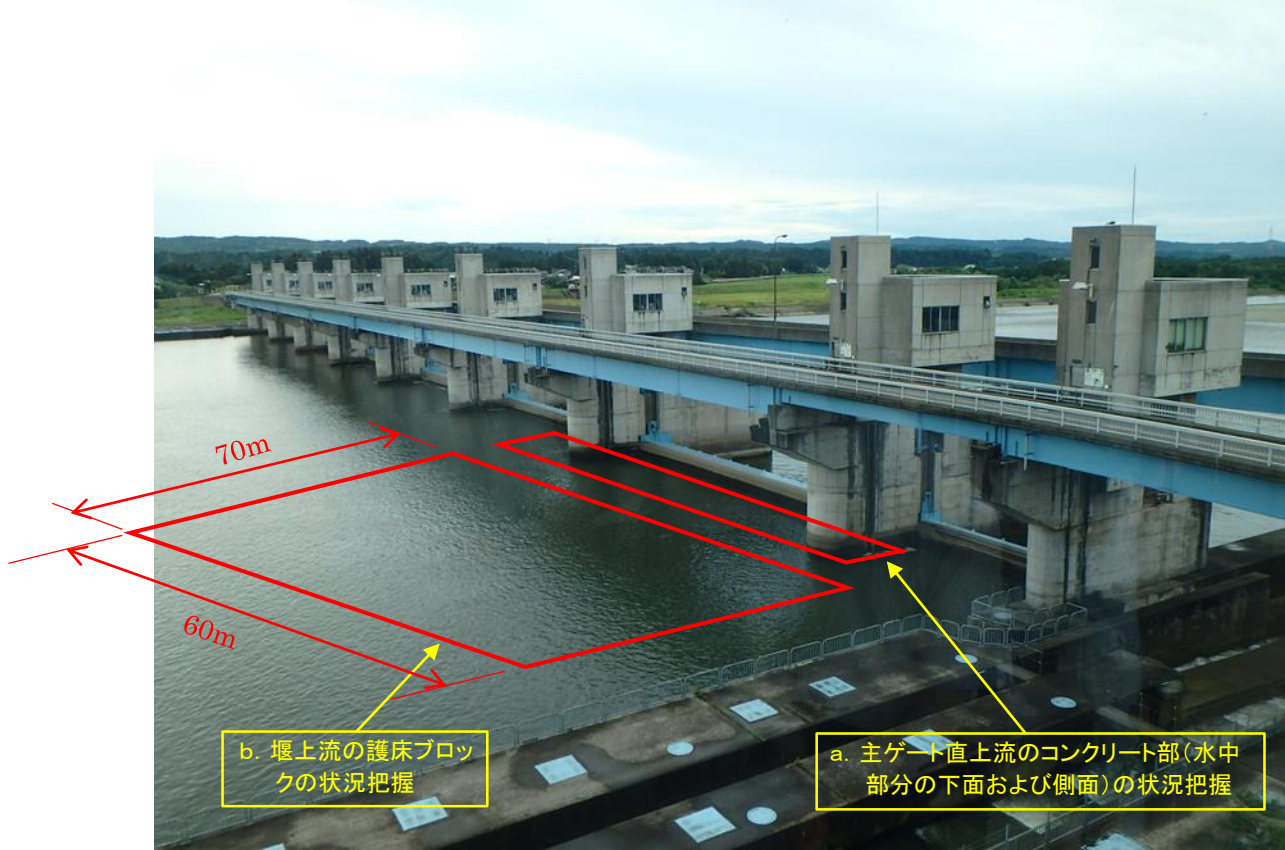
## d. 堰上流右岸の取水口上流部の矢板護岸の状況把握

矢板護岸の画像を取得し、変状があればその位置を特定する。

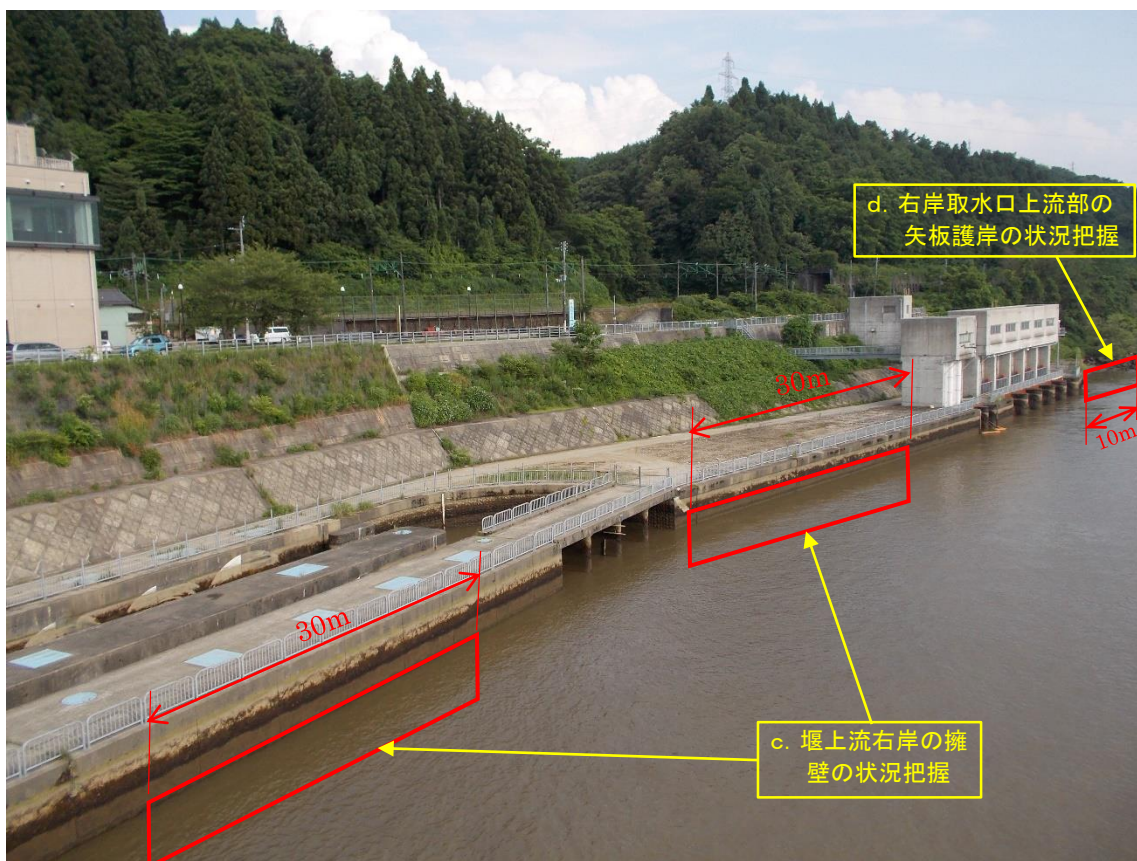
- ・取水口の上流 20m～30mの範囲



妙見堰での検証項目



妙見堰での検証項目 a. および b.



妙見堰での検証項目 c. および d.